

# わかったクンの校内散歩

R5・7・12



## 「息と舌をうまく使って リズムを表現」

小学部の音楽の授業では、鍵盤ハーモニカ、縦笛等の楽器を使って演奏をすることがあります。

タンギング（舌の動きや息の強弱を調節する技法）によって、音を明瞭に出すことができます。長く息を吐き続けたり、タンタンのリズムを演奏するためにどのように舌を使うとよいかの指導を事前に受けたりします。

この舌の使い方は、タ行やナ行などの発音にもつながりますね。

舌をどのように動かすとよいかを意識しながら、「♪」「♪」「♪」ののリズムに合わせて鍵盤ハーモニカで演奏練習をしていました。

どんな曲が弾けるようになったのかしら？

